

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇学校評価アンケートの結果から、「分かりやすい授業が多いと思う」の項目では昨年度と比較して、生徒(91.0%)・保護者(70.8%)とも同程度の評価であった。わかりやすい授業づくりに向けて、教員の研修やICT機器の活用、複数教師によるTT指導などが、一定の成果を収めていると考えられる。</p> <p>◇「総合・学活・道徳は自分のためになっていると思う」の項目では8割を超える生徒が肯定的な評価であるため、内容が十分に定着されていると判断できる。</p>	<p>◇「学習の努力が認められ、それが成績にも表れていると思う」の項目では生徒(23.1%)・保護者(9.3%)共に一定数の否定的意見が見られることは、評価方法が十分に伝わっておらず、よく理解されていないことも一因にあると考えられる。そのため各教科の授業を通して生徒に評価方法の徹底を図っていききたい。また、評価内容に関してきちんと説明し納得してもらえる資料の収集・整理が不可欠である。</p> <p>◇「総合・学活・道徳は自分のためになっていると思う」の項目では「判断しかねる」と回答した保護者が一定数いるため、どのような内容で総合・学活・道徳等が行われているのかが十分に伝わっていないのが続いている状況である。総合の「キャリア(生き方)」に関わる外部講師の講演等を保護者にも参加し聞いていただくことも検討していきたい。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市の共通指標の「自分が必要とされていると感じる」等の相互承認に関連する項目において、本校での現状を取組の中で表出できていない。そのため、今年度は「相互承認」の項目を含んだ学校評価アンケートを実施し、実態調査を行いたい。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

主体的な学び、自ら学びの地図を設計できる力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 旅行的行事における「課題探求的な学習」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学習と事後学習で見通しをもった課題を設定して、それを検証したり、まとめたりする活動 子どもの動きが見えるように計画の徹底と適切な教員の関わりを意識する 子どもの工夫や挑戦の場が保証される環境づくり <p>(2) 総合的な学習の時間における「職業体験学習」「旅行的行事における事前・事後学習」などにおける協働探求の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な他者と対話を通して、思考を再構築する。 	<p>(1) よりよい学校にするために学校教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育的行事と文化的行事の実施 →学級ごと、学年ごとにおける協働的な活動の良さを実感できた。 清掃ボランティア →美化委員会による校内外の清掃活動における環境整備の取組でボランティアとして100名の有志を集めて活動できた。 文化委員による昼の放送 →アンケートの実施や独自の企画により、給食時間の充実を図ることができた。 図書委員による図書の貸出や返却の受付、読書推進の取組 →教員のおすすめ本の紹介やポップ作りにより、図書室への来館者が増加した。
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇各教科でのICT機器の活用 →課題解決のため、必要なアプリケーションや表現方法の選択をすることで、自ら学ぶ力の育成を図る。</p> <p>◇学級や委員会でのICT機器の活用 →日常生活の中で活用することで、未来を生きる子どもの学ぶ力の育成を図る。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

